

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年05月07日

事業事業名	農業集落排水使用料賦課・徴収事務			担当	建設部 下水道課 農業集落排水係
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号 0285-83-8144
施策名	2	下水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業
基本事業名					
法令根拠	真岡市農業集落排水事業の設置等に関する条例			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和62 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）
予算科目	10. 農業集落排水事業特別会計	1. 農業集落排水費	1 農業集落排水費		
事業概要	農業用排水の水質保全と農村環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与することを目的に設置された農業集落排水処理施設の、維持管理費用に充てるため使用料を徴収する事務である。 なお、平成19年5月賦課分から賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託している。				

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 適正な生活排水処理による生活環境の向上と環境保全は重要な施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業集落排水施設使用者から使用料を徴収し、維持管理費用に充当するため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象は、農業集落排水施設使用者である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託しており、未納対策も最も効果的な上水道給水停止で実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 財源が確保できないため、施設の維持管理が困難となる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 水道料金賦課徴収事務
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託している。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託しており、これ以上削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 賦課徴収事務を真岡市水道事業管理者に委託しており、これ以上の削減は困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業集落排水施設使用者からの使用料徴収であり、公平公正である。

## 3. 改革・改善方向の部

### （1）改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止  見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性）  統合  継続  
経費削減のため、農業集落排水使用料賦課徴収事務を真岡市水道管理者に委託しており、今後とも継続する。

### （3）改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

### （2）改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### （1）1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

### （2）2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

### （5）改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

### （3）2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  
 事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  
 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）

### （4）その他2次評価会議で指摘された事項